

2025 年度 大阪府障がい者スポーツ大会（知的障がい者団体競技） バスケットボール競技 実施要領

1 競技日程

（ア）競技日時・組み合わせによる。

（イ）組み合わせは、主催者で厳正なる抽選を行い決定する。

なお、競技日時及び組み合わせの抽選結果については各競技、11 月下旬までに各チームに通知する。

2 競技規則

令和 7 年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、本実施要領の定めるところによる。

3 競技方法

（ア）試合は、男女別トーナメント方式とし、3 位決定戦は実施しない。なお、出場するチームの数により、リーグ戦を行う場合がある。また、参加選手 5 名に満たないチームは、交流試合等を実施し、選考の対象とする。

（イ）試合は、7 分クォーターを 4 回行うものとし、第 4 クォーターが終わったときに得点が同点だった場合、3 分間のインターバルをおき、3 分間の延長クォーターを必要な回数だけ行う。

第 1 クォーターと第 2 クォーターの間及び第 3 クォーターと第 4 クォーターの間にそれぞれ 1 分のインターバルをおく。第 2 クォーターと第 3 クォーターの間に 8 分のハーフタイムをおく。

（ウ）各試合の招集時刻は原則として試合開始時刻の 5 分前とする。なお、延長クォーターにより試合時間が延びた場合、試合終了後の 5 分後に招集、試合終了後の 10 分後に試合開始とする。

（エ）試合球は、公益財団法人日本バスケットボール協会検定男子 7 号球・女子 6 号球とし、主催者が用意する。ただし、練習球は各チームで用意すること。

（オ）メンバー表は、受付時に各チーム代表者へ配布する。これに記入の上、各試合開始の 30 分前までに大会本部へ提出すること。なお、ベンチに入るメンバーは、原則として申込書に記入されている者のみとし、直前の変更は認めない。

（カ）申込書の内容を変更する場合は、大会当日の 10 日前までに大会事務局へ申し出るものとする。

4 競技服装

（ア）原則として、濃色と淡色の 2 種類のユニフォームを用意し、組み合わせ番号の若いチームが淡色のユニフォームを着用すること。ただし、2 試合目以降については、両チームの協議により、ユニフォームの色の濃淡を変更することができる。

（イ）ビブスを着用し出場するチームは、ビブス以外の服装については統一したものを着用する。ビブスは、各チームが用意するものとする。

（ウ）背番号は、0、00 及び 1 から 99 までの番号を使用し、審判とスコアラーにはっきりと分かるようにすること。また、申込み時に登録した背番号と同じ番号をつけること。

5 組み合わせ等

（ア）組み合わせは主催者で厳正な抽選を行い決定する。シードは設けない。

（イ）抽選の結果、組み合わせ表の番号の若いチームが、オフィシャル席に向かって右側のベンチとする。

6 その他

- (ア) 出場チームが 1 チームの場合など、試合の実施が困難なときは、協力団体によるクリニック等を実施する。
- (イ) 第 1 試合出場チームは受付開始時刻に、その他のチームは試合開始時刻 1 時間前までには、会場に到着しているものとする。
- (ウ) 表彰式は、競技終了後に競技場で行い、優勝・準優勝チームそれぞれに賞状を授与する。
- (エ) 監督会議は実施しない。事前の申し入れや協議事項がある場合、文書にて大会事務局に問い合わせること。
- (オ) ベンチ内には、原則として試合中の監督、コーチ及び登録選手以外入場できない。
- (カ) 事故等が発生した場合、主催者で応急処置は行うが、それ以降の責任は一切負わない。参加するチームは必ず傷害保険に加入すること。さらに必要な場合は医師の診断を受けるなど自己責任において健康と安全について十分留意すること。
- (キ) 主催者で記録用の写真を撮影するほか、参加選手・役員の氏名、容姿などが成績と共にマスコミに報道される場合があるので、その点を理解したうえで申し込むこと。また、事務局が入手した、出場選手・役員の個人情報は大会参加調整事務のみに使用し、それ以外の目的では一切使用しない。
- (ク) その他、不測の事態が発生した場合の取り扱いは、主催者において判断する。